

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(平山小)学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

学校運営協議会として、学校教育への協力・支援の具体的な方策を熟議していく。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 校長から学校運営の基本方針について丁寧な説明があり、理解を深めることができた。
- 各委員が様々な立場や視点から学校運営の方針について意見を述べ、充実した熟議をすることができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- 学校基本方針を受け、学校と地域が連携した取組について、熟議することができた。
  - ① 昨年度に引き続き、地域有識者を講師にして地域の歴史を知る活動を行い、地域学習を軌道に乗せることができた。また、学区内の他の歴史遺産を発掘し、学習に取り入れようという取組について熟議することができた。
  - ② 地域産業である「みかん栽培学習」を保護者ボランティアを活用して有効に行うことができた。
- 教員とグループ討議を行ったことで、支援のニーズを知ることができ、具体策の熟議につながった。
- 伝統でもある自転車部の練習環境を整え、子どもたちの頑張りを支えることができた。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- 学校だよりで学校運営協議会の動きをお知らせし、CSへの理解を広げることができた。
- HPやブログで議案や話合いの様子を掲載したり、ボランティアが実際に活動した様子を掲載したりすることで、地域に協議会の理解が深まった。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- 「小規模校のよさ」「平山小ならではの自慢作り」という視点で、更に学校教育活動が充実するよう熟議をしていく。
- 学校支援のボランティアについて、継続実施や内容の拡大等の働きかけを継続していく。